

本学との学術交流協定締結校の紹介



チェンマイ大学

(タイ王国)

(Chiang Mai University)

交流協定締結年月日：1990年4月24日 主管学部：農学部



チェンマイ大学正門



第3回共催シンポジウム

国際交流の特色(大学紹介)

1964年タイ北部に最初に設立された高等教育機関として、教育と研究の発展に多大の貢献をしてきた。タイの大学ランキングで教育と研究の両面で最高レベルの評価を受けている。タイ北部のチェンマイ市(首都バンコクから北に飛行機で1時間)の3ヶ所にあるキャンパスは、合計644 haと広大である。20学部を有し、学部生24,865人、大学院生7,093人(修士)と804人(博士)が在籍する。キャンパス内に学生の約2割を収容する寮のビル群があり、留学生用の上級な寮も整っている。ラオス、カンボジア、ベトナムなど周辺国から積極的に学生を受入れている。チェンマイは京都のように美しい古都であり、文教と観光の都市である。気候は涼しく、日本人には暮らしやすい。

交流実績(平成20年度～22年度)

農学部

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
受入・派遣			
国費外国人留学生受入	7	8	5
短期留学生受入	0	3	0
学生の派遣・短期訪問・研修	0	0	8
外国人研究者受入	39	0	2

農学部教員からの声

本学とチェンマイ大学(CMU)との学術交流協定の締結後に、二度のJICAプロジェクト(1993-98, 2003-06)で、多くの教員・研究者が往来して植物バイオテクノロジーや省農薬技術の指導・研修を行い、これらが多彩な共同研究に進展しています。生物資源科学や希少糖の共同研究も活発です。CMUの農・農産・理の3学部から多くの優秀な留学生を受入れ、特に2002年のAAP特別コース設立によってその数が増えました。農学部からの派遣留学生も増えています。両大学間の広範で多数の交流実績に基づき、本学はCMUを海外国際交流拠点校と定め、そのプラットフォームとしての教育研究交流共催シンポジウムの開催を2007年からCMUにて始め、農・工・医学部等の教職員・学生45人が参加しました。その後、交流は文系3学部等にも拡大し、2008年に本学にて2回目(CMUの43名を招聘)を実施し、2010年には3回目をCMUにおいて行い、医学系の企画やダブルディグリー協定の調印も行いました。医学・工学部学生の双方での留学・研修も盛んになり、農学部のアジア人財資金構想事業において食の安全を学ぶ留学生もいます。 農学部教授 片山健至

工学部

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
受入・派遣			
外国人研究者/訪問受入	11	0	0
外国人留学生受入	1	0	0
学生の短期訪問(派遣)	0	2	4
教職員派遣	7	2	1

工学部学生からの声

私の研究室では、病院病棟の耐震性と機能保持に関する研究を行っています。チェンマイ大学(CMU)でも、同様の研究が行われています。CMUの土木工学科のチアノン先生は耐震に関する研究をされており、私の研究室で開発された解析システムを使用されています。私は、システムの使用に関する補助の為にCMUを訪問しました。滞在中は、耐震用ラックの実験を行いました。

CMUは、とても広くてスケールの大きさに圧倒されました。CMUの学生はとても積極的で、たくさんコミュニケーションをとることができ、すぐに打ち解けました。今でも連絡を取り合う仲です。また、異文化を知ることによって日本の良いところ、悪いところを知りました。言葉、文化が異なる環境で過ごした経験の一つ一つがとても新鮮で有意義であったと思います。

工学部 安全システム建設工学科 4年 河井勇樹

チェンマイ大学

(Chiang Mai University)

ホームページ <http://www.cmu.ac.th/>

●学部学生

●大学院生

24,865 人

7,897 人

●教職員

●留学生

10,989 人

100 人